

## 平成26年度第4回教育研究評議会議事要旨

日時 平成26年6月25日（水）16時57分～17時16分

場所 第1会議室

出席者 23名

和田学長，大矢理事（総務・財務担当副学長），鈴木理事（教育担当副学長），近藤副学長，杉山評議員（保健管理センター所長），尾形評議員（言語センター長），李評議員（ビジネス創造センター長），行方評議員（情報処理センター長），穴沢評議員（国際交流センター長），佐野評議員（経済学科長），乙政評議員（商学科長），小倉評議員（企業法学科長），加地評議員（社会情報学科長），花輪評議員（一般教育系学科主任），金評議員（現代商学専攻長），旗本評議員（アントレプレナーシップ専攻長），船津評議員（経済学科教授），高田評議員（商学科教授），石黒評議員（企業法学科教授），佐山評議員（社会情報学科教授），八木評議員（一般教育系教授），羽村評議員（言語センター教授），瀬戸評議員（アントレプレナーシップ専攻教授）

公欠者 0名

欠席者 0名

議事に先立ち，事前に配付している前回（6月11日）開催の平成26年度第3回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

### 議 題

#### 1. 平成27年度小樽商科大学グローバル・マネジメント・プログラム～北海道発のグローバル教育～に関する骨子（案）について

和田学長から，審議資料1に基づき，平成27年度小樽商科大学グローバル・マネジメント・プログラム～北海道発のグローバル教育～に関する骨子（案）について諮られ，審議の結果，同日開催の学部・大学院合同教授会で承認された，以下の修正を加えた修正案について承認された。

○骨子（案）の6（8）について，「検討する。」の後に，「なお，併せて，教育研究組織の再編についても検討を行う。」の文言を追加する。

承認後，和田学長から，本件について承認されたため，今後，本骨子に基づき，将来構想委員会において，プログラムの具体的な科目の構成や実施にあたって必要となる事項等について，引き続き，検討を行っていくこととする旨発言があった。

また，プログラムの最終案については，原案を策定次第，提案する旨併せて発言があった。

## 2. 将来構想委員会規程の一部改正（案）について

和田学長から、審議資料2に基づき、将来構想委員会規程の一部改正（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、本件について承認されたため、本規程は、本日（6月25日）付けで施行し、平成26年4月1日付けで適用する旨発言があった。

## 3. 教員の定員・現員及び教授昇任に係る基準該当者の確認について

和田学長から、審議資料3-1に基づき、平成26年6月1日現在の教員の定員・現員について説明があった。

次に、和田学長から、審議資料3-1で空欄となっている今年度の大学全体枠からの昇任可能数について、学部6名、アントレプレナーシップ専攻1名としたい旨提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

続いて、審議資料3-2（回収）に基づき、今年度の昇任基準該当者名簿の確認が行われたが、修正等の意見は出されなかった。

その後、和田学長から、本評議会終了後に、各学科等の長あてに昇任候補者の推薦を依頼するので、7月11日（金）までに推薦願いたい旨発言があった。アントレプレナーシップ専攻長あてには、別途昇任候補者の選出、決定を依頼する旨併せて発言があった。

また、9月の教授昇任教授会において、昇任について過半数の賛成を得ながら昇任できなかった候補者が出た場合には、「教員昇任人事規程に関する申し合わせ第4項」及び「学内教員定員管理の方針 大学全体枠よりの昇任手続き」に基づき、次年度の4月1日までに以下の事実のいずれかが発生した場合に、次年度の4月1日付けで教授への昇任を認めることとされている旨補足説明があった。

- ・当該教授昇任候補者が所属する学科等において教授が退職（退職後再雇用される場合も含む）したとき
- ・当該教授昇任候補者が所属する学科等から選出された学長又は理事（学長又は理事に選出されたときに教授であった場合に限る。）が63才に達したとき

また、前回（6月11日）開催の本評議会において、今年度の昇任教授会については、資料印刷に係る経費節減等の観点から、回収資料の閲覧にiPadを用いて、213AL教室で実施する予定である旨報告したが、第一会議室でiPadを用いて実施できることが確認できたため、第一会議室での開催とする旨発言があった。

## 報 告 事 項

### 1. 教員の再雇用について

和田学長から、本年度末をもって定年退職予定の以下の教員3名から再雇用の申し出があり、「本学再雇用職員就業規則」及び「本学特任教員規程」に基づき、平成27年4月1日から特任教授として再雇用することとした旨報告があった。

- ・ 社会情報学科 小笠原 春彦 教授
- ・ 言語センター 大島 稔 教授
- ・ 言語センター 裴 崢 教授

また、和田学長から、平成26年4月1日から再雇用している以下の教員2名から、再雇用期間の更新の申し出があり、平成27年4月1日から再雇用の期間を1年間更新することとした旨併せて報告があった。

- ・ 社会情報学科 中村 隆志 特任教授
- ・ 言語センター 江口 修 特任教授

その後、和田学長から、本件については、次回開催の学部・大学院合同教授会においても報告予定である旨発言があった。

### 次回の会議日程

次回の教育研究評議会は、7月16日（水）に開催する予定である。

以 上